

地域特性を活かしたパンジーの鉢物栽培技術の開発

【研究概要】

都産花壇苗の1/3を占める重要な品目であるパンジー・ビオラについて、江東地域の冬季温暖な気候と市場・消費地に隣接する立地条件を活かして、高収益なオリジナル商品を開発することを目的に試験を実施した。その中で、今年度は下記の成果が得られた。

- (1) 3月出荷の寄せ植え素材として、「イエロークイン」は10月11日播種が適期で、「F1ピエナオレンジ」は10月中の播種が適し、9月まきは多花が見込まれた。
- (2) ケヤキ落ち葉を利用し、踏み込み温床による熱源ユニットを試作した。本ユニットを活用すると、ビオラの生育・開花は加温温室と同等となった。